鳥取県新型コロナウイルス感染症対策本部（第１６３回）
第９４回鳥取市新型コロナウイルス感染症対策本部
米子市新型コロナウイルス感染症対策本部
合 同 会 議

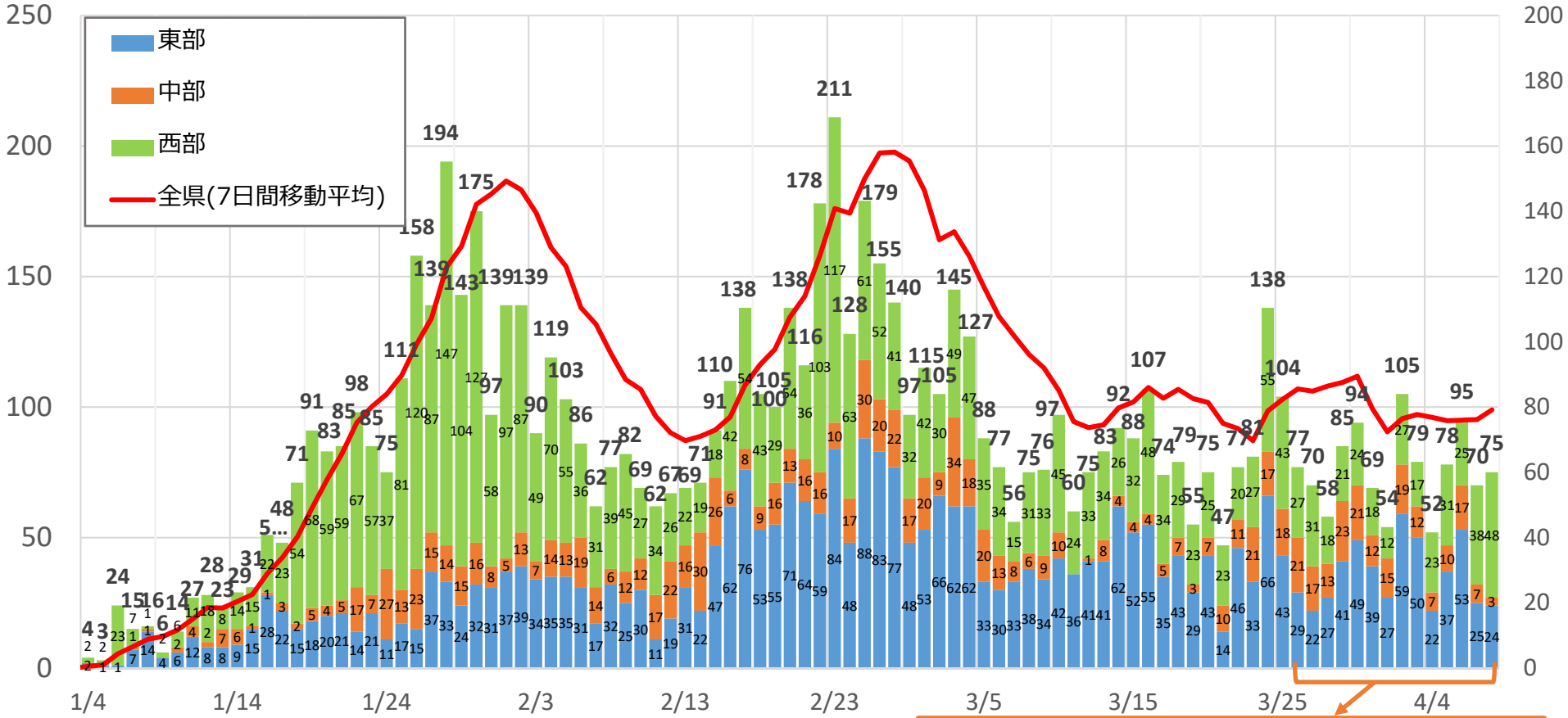
- 日時：令和４年４月８日（金）午後３時から

- 場所：鳥取県庁災害対策本部室（第２庁舎３階）

- 出席：知事、副知事、統轄監
  新型コロナウイルス感染症対策本部事務局、交流人口拡大本部、危機管理局、
  総務部、福祉保健部、子育て・人財局、生活環境部、商工労働部、教育委員会
  （テレビ会議参加）
  東部地域振興事務所、中部総合事務所、西部総合事務所、日野振興センター
  鳥取市長、鳥取市保健所長
  米子市長、米子市福祉保健部長
  鳥取大学医学部　景山教授（アドバイザー）
  鳥取大学医学部　千酌教授（アドバイザー）

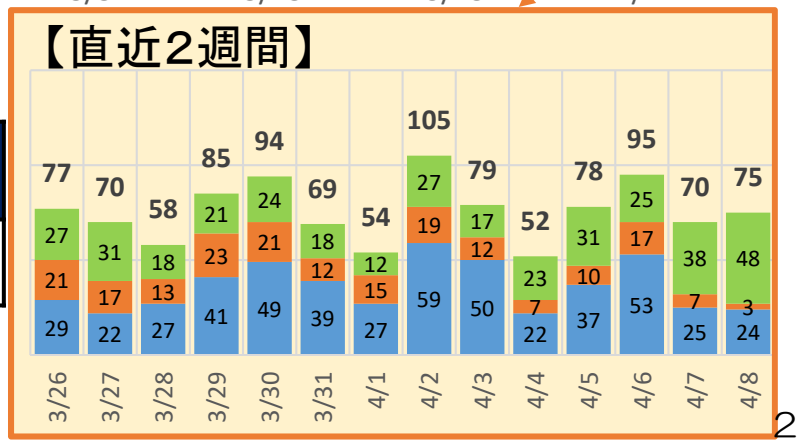
- 議題：
  （１）県内の感染状況について
  （２）その他

第６波の新規陽性者数の推移　【公表日ベース】



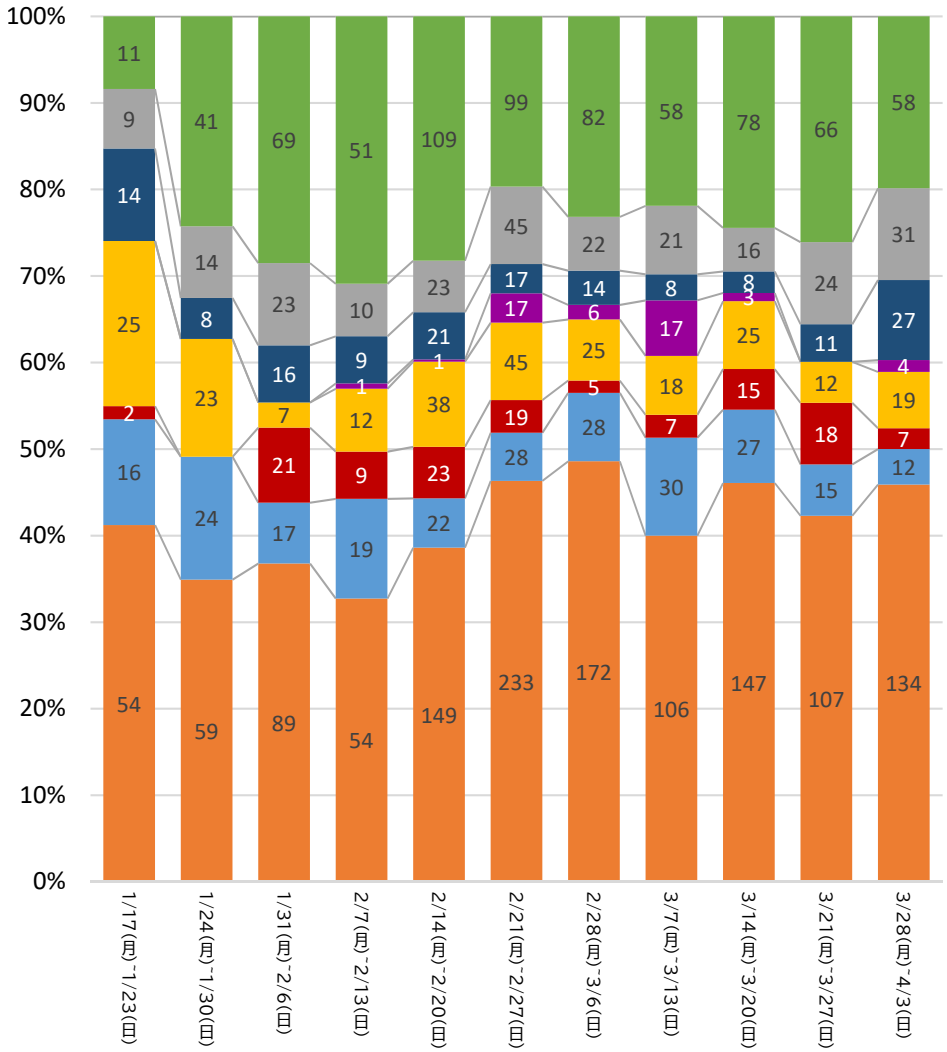
1/4～4/8の保健所ごとの累計発表陽性者数

管轄保健所	鳥取	倉吉	米子	全県計
累計陽性者数	3,355	1,089	3,858	8,302

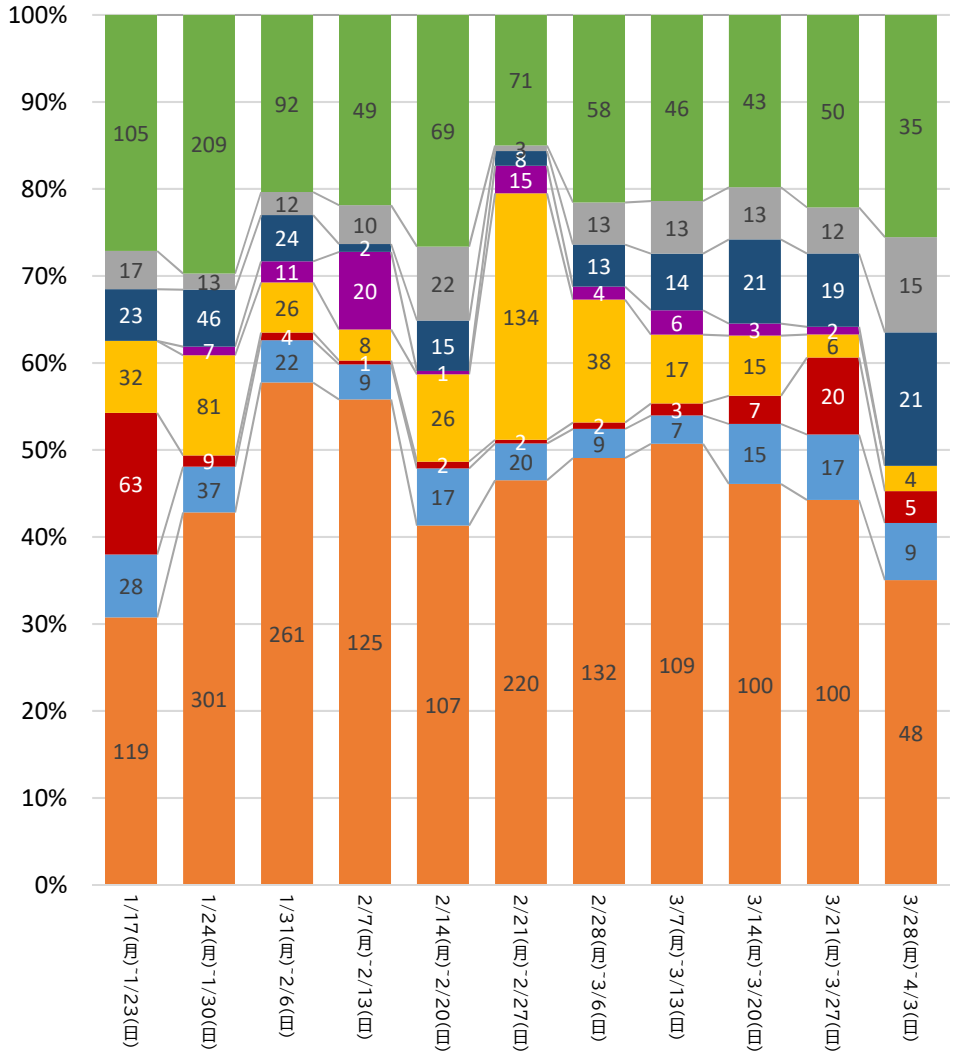


第６波の推定感染経路別割合の推移

【東部】



【西部】



■家庭 ■職場 ■会食・飲食店 ■学校・児童福祉施設 ■高齢者福祉施設 ■県外往来 ■その他 ■不明

鳥取市

鳥取市
新型コロナオミクロン株感染拡大防止メッセージ

全国で、感染力がより強いBA.2系統への置き換わりが進んでいます。
感染拡大防止には市民の皆様の取組みが必要です。
引き続き、基本的な感染対策の徹底をお願いします。

〇新年度を迎え、人との接触の機会が増えます。いつも以上に、健康管理・感染対策を徹底し、体調が悪いときは、無理をせず休みましょう。

〇依然として家庭内での感染が多く確認されています。家庭内でも感染対策の再確認をお願いします。

〇食事の際の会話や着替えなどマスクを外す機会や密接する空間で感染が拡大しています。基本的な感染対策を改めて徹底しましょう。

〇感染拡大防止・重症化予防のため、ワクチン接種をご検討ください。

米子市

米子市から感染拡大防止のメッセージ

米子市民の皆さんへ
引き続き感染拡大を防止するために協力をお願いします

１　新年度を迎え、人の接触が多い時期になります。体調変化に留意して、家に帰ったらまずは手洗いなどの基本的な感染防止対策の徹底を引き続きお願いします。

２　会食の際は、「新型コロナ安全対策認証店」等を利用し、体調が悪い方は参加を控えましょう。

３　感染不安のある方は、ぜひ無料検査をお受けください。

４　感染拡大防止・重症化予防のため、ワクチン接種をご検討ください。

岸田総理会見のポイント(R4.4.7)

- 新規感染者数は全国的に下げ止まっており、若い世代を中心に増加傾向。
- 再拡大の兆候が見られる地域もあり、BA. 2への置き換わりについても注意が必要。
- 再拡大の兆候が見られる中、医療のひっ迫が生じるような急激な感染拡大を防ぎ、日本の社会全体が日常の生活へと移行していくことができるよう、改めて、国民お一人お一人に次の3点について御協力をお願いしたい。

  第1に、基本的な感染対策の徹底

  第2に、積極的な検査の活用(抗原定性検査キットを6か月間で3. 5億回分確保)

  第3に、ワクチン接種の更なる促進(自治体と大学等が連携し、自治体の大規模接種会場等を活用し、その費用を国が支援)

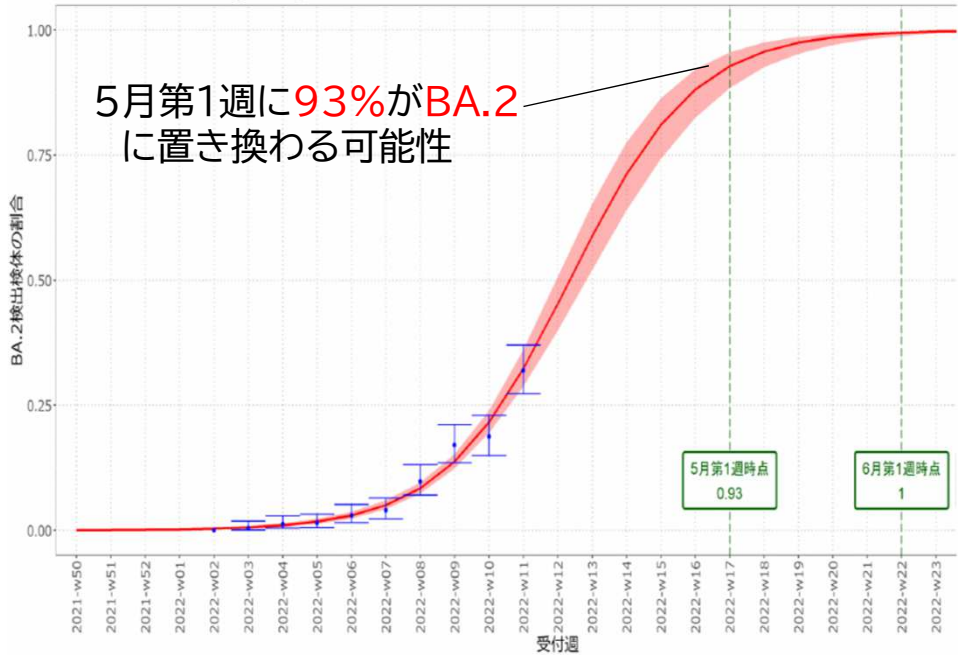
- 高齢者施設における医療支援体制を全国で確保するため、施設内療養を行う施設への1人当たり最大30万円(※)の補助を全国に拡大し、7月末まで延長。

  ※全国知事会の要望により、まん延防止等重点措置地域等に限定されていた取扱いを全国に拡大(変更前は1人当たり最大15万円)

BA.2系統について

○BA.2系統は、BA.1系統より感染性が高く、国内でも置き換わりが進んでいる。
（BA.1系統と比べ、世代時間が15%短く、実効再生産数は26%高い）
○入院、重症化リスク、ワクチン予防効果については、差がないとの報告がある。
⇒現時点で県内でBA.2系統は確認されていないが、今後、急速に置き換わりが進むことが懸念される。

＜国立感染症研究所によるBA.2検出率の推定（※3/31データ）＞



（出典）第79回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード（R4.4.6）資料

＜BA.2系統の検出状況＞

○鳥取県

・県内でBA.2は未確認。
・検出されているのはすべてBA.1又はBA1.1系統。

○東京都

・BA.2系統疑い：52.3%（3/15～3/21）
→67.8%（3/22～3/28）

○大阪府

・BA.2系統疑い：38.5%（3/21～3/27）
→49.7%（3/28～4/3）

BA.2・第7波特別対策プロジェクト

今後、県内において、感染力が非常に強いBA.2系統に置き換わりが進むことが想定されます。新規感染者数が第6波の2倍相当となった場合にも対応できる体制を構築し、社会経済活動を継続していきます。

Point1 感染拡大をしっかりと抑制

- 感染拡大時の保健所業務応援体制の整備
- BA.2判定の迅速化（BA.2の変異株スクリーニング実施に向けて技術検証を開始）
- 検査体制の充実（無料検査を4/10→4月末まで延長、大学生等への無料検査の実施）
- 学校、保育所、高齢者施設・医療機関等での感染拡大防止対策の一層の徹底

Point2 陽性者の回復ケアの充実

- 陽性者が倍増しても適切な医療や支援が継続できる療養体制の整備
- 在宅療養者の増加に対応する支援体制の強化・充実
- コロナ治療薬の対応医療機関・薬局の拡充

Point3 感染予防と社会経済活動の継続

- 社会経済活動の継続のためのコロナ対策に係る各種支援策の充実
- ワクチン接種の更なる推進
- 飲食・観光施設への巡回点検による安心した飲食・観光施設の利用
- 引き続いての感染防止対策の徹底、ニューノーマルな職場環境の推進

Point1

感染拡大をしっかりと抑制

BA.2・第7波
特別対策

保健所特別体制へ移行

陽性者が倍増しても保健所機能が維持できるよう保健所応援体制を拡充

（特に積極的疫学調査・濃厚接触者の特定をスピーディーに行えるよう十分な**人員体制（最大300人）を確保**）

◆変異を繰り返す新型コロナウイルス感染症の特性に応じて迅速かつ機動的に立ち向かうため、４月１日から、本部事務局の体制を強化

・**「保健所応援チーム」を設置**し、感染拡大時の保健所応援業務を円滑に立ち上げる機能を強化

（チーム長は総務部長が兼務、保健所業務を経験し、豊富な経験をもった職員50名に「保健所応援チーム」の兼務を発令済）

◆クラスター発生が疑われる場合には、初期段階から特命チームを発動

○職場全体でオミクロン株対策に全力で取り組む体制を継続し、総合事務所をはじめ地区内全体で対策を実施中

・米子70名、倉吉20名を派遣中

・オミクロン株緊急体制として、**特命チーム**(３チーム体制)を継続中　※倍増時には必要に応じて増員

○鳥取市保健所に対しても、「鳥取市・オミクロン株対策緊急プロジェクト」として、随時、職員派遣や検体採取の支援を行うなど、市保健所との連携を実施

・機動的に職員派遣や業務支援を拡充するよう鳥取市と調整済

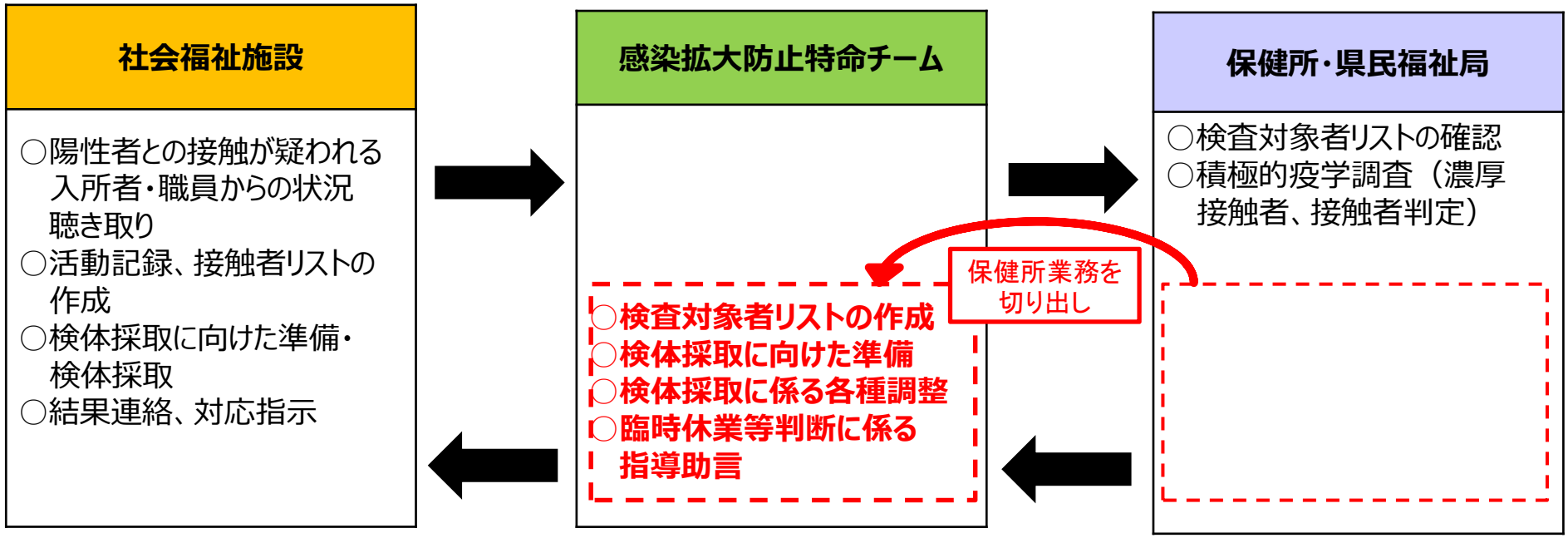
BA.2・第7波
特別対策

特命チームによる保健所業務の負担軽減

これまで保健所が行っていた子ども関係施設・学校・社会福祉施設等における初動対応を関係課等で構成する特命チームが担うことで、**保健所の業務負担を軽減**

特命チーム（「社会福祉施設感染拡大防止」「子ども関係施設等感染拡大防止」「学校感染拡大防止」の３チーム体制）で現場を拡充

＜社会福祉施設の例＞



※従来、保健所等が行っていた赤字部分の業務について特命チームが担当

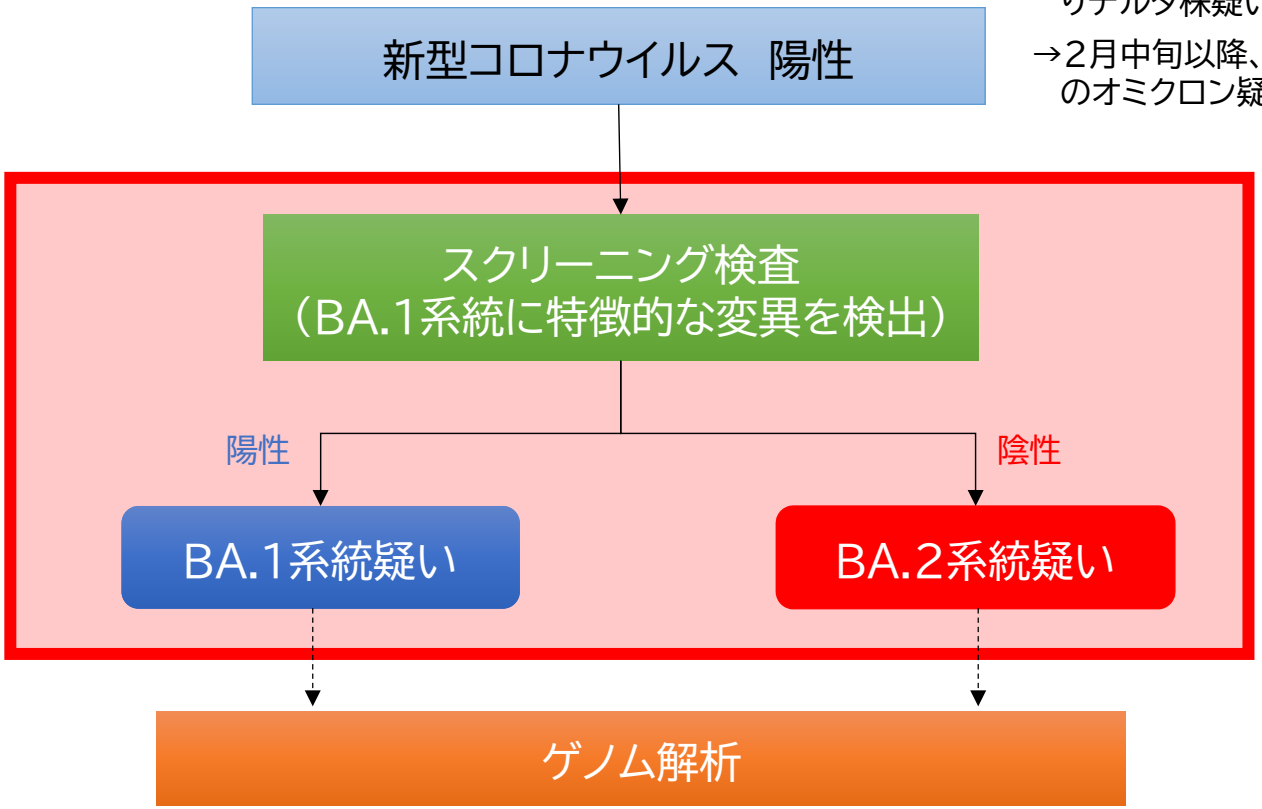
BA.2・第7波
特別対策

BA.2系統の変異株スクリーニング検査

○BA.2系統を速やかに検出する変異株スクリーニング検査の実施に向けた衛生環境研究所での技術検証を開始。
⇒BA.1系統に特徴的な変異を検出。陰性の場合、BA.2系統疑い。

＜スクリーニング検査スキームの案＞

※従前はL452Rのスクリーニング検査によりデルタ株疑いとの判別を実施。
→2月中旬以降、ほぼすべてがL452R陰性のオミクロン疑いとなっている。



BA.2・第7波
特別対策

行政PCR検査センターの拡充

PCR検査（検体採取）センターを外部委託により新規設置及び拡充し、濃厚接触者等の行政検査件数の増加に対応

【中部】 **新規設置**

現在、保健所で直営（検査調整→検体採取→検体搬送）

➡検体採取・搬送業務を外部委託

保健所以外に設置し、場所の狭さによる制約を解消

【西部】 **対応件数拡充**

現在、検体採取・搬送業務を外部委託（対応時間4時間）

➡対応時間の延長等により対応件数を増やす

BA.2・第7波
特別対策

無料検査を受けましょう

期間延長

新年度が始まり、人の動きが活発になっています。
安心して活動するためにも、**ぜひ無料検査をお受けください。**

【特措法第24条第9項による受検要請】

12月31日(金)～~~4月10日(日)~~ ⇒ **4月30日(土) まで延長**

※特措法第24条第9項は、新型コロナの感染拡大を抑え込むために、皆様に協力をお願いする制度です。

次の皆さんは、特に積極的に検査を受けてください

- ✓ 感染拡大地域に行かれた方
- ✓ 感染拡大地域の方と過ごされた方
- ✓ 不特定多数の方と接触するなど感染リスクの高い行動をされた方

～無料検査に関してご不明な点のお問合せは～
鳥取県無料検査コールセンター　☎０５７０－７８３－５６３
(土日含む毎日、9時～１７時)

BA.2・第7波
特別対策

大学等の感染防止対策

＜共通的に実施＞

・新入生に対する健康観察・記録実施
（２週間前からの体温測定、１週間前までの県内住居地への移動の呼びかけ　など)
・「保健管理ｾﾝﾀｰ」「保健室」での健康相談の実施
・積極的なワクチン接種の呼びかけ　等

＜構内での無料検査場の設置＞

・公立鳥取環境大学:4/5~8で抗原定性検査(1,100人分)を実施
・鳥取大学：未検査者向け無料検査場を設置予定
(医学部医学科新入生に対しては4/1、4/4にPCR検査実施済)

※鳥取看護大学・短期大学は、新入生に対し、入学式2週間前からの健康行動記録表提出、来県前のＰＣＲ検査等の受検、1週間前までには県内へ転居のうえ、健康観察等を実施済

＜大学生向け感染防止対策チラシでの啓発＞

・学生の活動が活発化する新学期開始時期に感染の再拡大を招かないよう、大学を通じ学生ひとり一人に向けて、基本的な感染防止の取組の徹底について呼びかけ

- 歓送迎会等でのマナー順守(少人数・短時間、個食徹底、対策済飲食店の利用、ﾎｰﾑﾊﾟｰﾃｨｰでも感染対策)
- 積極的なワクチン接種（感染予防、発症予防、重症化予防が期待できることを啓発)
- 基本的な感染防止対策の徹底（ﾏｽｸ着用、手洗い・手指消毒・換気徹底、体調が悪ければ外出・登校を自粛）

⇒ 各大学等の学生ガイダンス等(4/5以降順次)で幅広く周知

BA.2・第7波
特別対策

県立学校の感染防止対策について

４月７日（木）から多くの学校で新学期が始まりました。
児童・生徒の皆さん一人ひとりが高い意識をもって、感染リスクの高い行動は控えるなど、感染防止対策に取り組みましょう。

◆春休み中に県外を訪問した生徒は、積極的に無料ＰＣＲ検査の受検を指導

- 県外での部活動の大会に参加した生徒、私用で県外を訪問した生徒
- 県外からの帰省者と接触した生徒、県外から入寮、県外の帰省先から帰寮する生徒

◆臨時休業の対応

学校関係者の感染が確認された場合は、**原則一先ず臨時休業**
（接触範囲等が特定できた場合は、保健所に確認の上、学年閉鎖、学級閉鎖等を検討）

◆学校長等を対象に専門家による研修会を実施（４月８日）し、感染防止対策の徹底を図る

◆感染対策をより一層徹底

〇児童生徒及び教職員の体調管理、健康観察の徹底（日々の検温等）
　→本人又は家族が体調不良の場合は、登校せず自宅療養等
〇特に、新入生に対して、感染防止対策を丁寧に指導
〇マスクの正しい着用（不織布マスクの推奨）、手洗い、換気等の徹底
〇食事の際は、対面とならない工夫を行い、黙食を徹底

BA.2・第7波
特別対策

県立学校の感染防止対策について

◆部活動の対応

○現在の感染状況を踏まえ、４月５日（火）から全ての学校の部活動を一旦中止し、７日（木）に顧問と生徒で感染対策を確認し、管理職による点検の上、問題なければ、８日（金）以降に活動再開

○体調管理を徹底

※本人の体調に不安がある場合、又は家族に体調不良者がいる場合は活動に参加しない

○運動時以外のマスクの着用（休憩中、ミーティング中等）

※指導者及びマネージャー等、活動を行わない者も不織布マスクを着用

○部室、更衣室等利用時の感染防止の徹底

※マスク着用、利用人数、換気、飲食禁止、会話を控える、注意事項の掲示等

◆学校寮の対応

○感染症対策ガイドラインに則った感染防止対策のより一層の徹底

→寮生の体調管理、健康観察の徹底（日々の検温等）

→寮内での常時マスクの着用、帰寮時の手指消毒の徹底

→マスクを外す食事や入浴の際の感染防止の徹底（換気、会話を控える等）

◎市町村教育委員会にも上記内容を情報提供し、引き続き感染防止対策を徹底するよう依頼
◎私立中・高等学校にも上記内容を情報提供し、県立学校と同様の感染防止対策の徹底を要請

BA.2・第7波
特別対策

保育所・幼稚園等、放課後児童クラブにおける感染対策

新年度を迎え、新しい園児や児童が増える時期であり、また異動により職員の入れ替わりがある時期です。
改めて、感染予防の意識を高め、より一層の警戒をお願いします。

＜予防対策＞ 積極的な検査等による感染予防

○職員の体調管理の徹底等

職員の健康管理を徹底し、少しの発熱、喉の違和感、倦怠感など、体調不良があった場合には出勤せず、早めに受診してください。

⇒PCR検査補助金（4月末まで）も積極的にご活用ください。

○家庭内における園児の感染予防

家庭内感染に起因する施設での感染事例が発生してることを踏まえ、園児の家庭内における感染予防の再徹底をお願いします。

⇒体調不良等の場合は登園を控えてください。

＜研修実施＞ BA.2感染予防、感染拡大対策を周知徹底

○研修動画の配信 （4/5配信）

新たな職員体制で、研修を4月中に受講していただき、改めて施設内の感染対策の共有をお願いします。

【研修内容】

保育施設等における感染予防対策、クラスター発生防止 など

講師：鳥取看護大学 荒川教授

対象：保育所・幼稚園等、放課後児童クラブ、保育関係団体

○新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインの再確認・徹底

BA.2・第7波
特別対策

医療機関・高齢者施設の感染予防・拡大抑制対策

＜予防対策＞ 積極的な検査等による感染予防

〇無料PCR検査等の積極実施（4月末まで延長）
〇職員の体調管理、家庭内における感染予防の徹底

＜拡大抑制対策＞陽性者が発生した際に専門家・特命チームの派遣による感染拡大抑制

〇感染管理認定看護師など専門家の派遣
〇社会福祉施設感染拡大防止特命チームによる感染拡大抑制の支援
　西部：1名常駐、中部：1名サテライト勤務　⇒　状況に応じてさらに拡充
〇高齢者施設への往診体制の準備を進め、国の新たな補助制度も活用し療養環境を充実

医療機関や高齢者施設を対象とした研修を実施し、感染予防、拡大抑制対策を周知徹底　※介護4回実施（4/8、11、15、21日）
医療1回実施（4/11日）

BA.2の特徴、感染予防対策、拡大抑制への注意喚起、発生時の初動対応、ゾーニング指導、適切な防護服の着脱方法、治療薬の投与方法等の紹介 など
講師 ： 鳥大医学部千酌教授、松山感染管理認定看護師、大畑感染管理認定看護師
対象 ： 病院、入所系福祉施設

Point2

陽性者の回復ケアの充実

BA.2・第7波
特別対策

医療提供体制

陽性者が倍増しても適切な医療や支援を継続できる体制整備に着手
～トリアージを組み合わせたセーフティネットを構築～

3月までの最大値		備考	倍増想定値
入院者	146 （1月16日）	入院を基本に療養先調整した1月が最多。症状に応じて調整した2月以降は入院患者が減少。 ［月別最大値］1月：146人、2月：95人、3月：22人	292
宿泊療養者	162 （2月28日）	東中西各地区に開設。客室数の多い宿泊施設で効率的に健康サポートを実施中。	324
在宅療養者	1,090 （3月2日）	電話とアプリを組み合わせて健康サポートを実施中。 有症状者は10日間経過、無症状者は7日間経過で療養解除可能。（2/2～）	2,180

1. 病床確保　最大確保病床数　350床

・さらなる拡大時の対応について医療機関と協議を進める
・高齢者施設や療養病床での感染発生時の療養継続体制整備を推進

2. 宿泊療養　確保室数　459室

・施設の追加確保を検討
・看護協会と連携し、24時間健康サポートを担う看護人材を追加確保
・必要に応じて圏域を超えた入所調整を実施
・鳥取方式あんしん投薬システムで円滑に薬剤処方
・臨時医療施設での医療的ケアを充実（その場での治療薬投与、入院対応）

BA.2・第7波
特別対策

医療提供体制

3. 在宅療養（高齢者等入所施設含む）

BA.2系統の増加に伴う最大の受け皿として想定される在宅療養について
重層的な支援体制により きめ細かな健康サポート・生活支援を確保

・保健所業務体制の充実
（パルスオキシメーター貸与、食料配布、在宅療養患者への各種説明、療養証明書発行等）

【倉吉保健所】 応援職員6名体制／日 → 最大12名体制／日まで増員＜保健所応援チーム＞
【米子保健所】 応援職員8名体制／日 → 最大16名体制／日まで増員＜保健所応援チーム＞

併せて、パルスオキシメーター貸与・回収、食料配布等の定型業務について積極的に外部委託を検討。

・「県庁HER-SYS班」の体制強化

現行6名（2名体制／日） → 最大12名（5名体制／日）まで増員＜県庁応援職員＞

・保健所、訪問看護ステーションによる健康観察体制の整備充実

保健師、訪問看護師による24時間健康サポート、生活支援物資の調達、配送
OB・OG保健師の活用により体制を拡充

・かかりつけ医、薬剤師による健康観察体制の整備充実

感染ひっ迫時に、医療提供や薬剤の処方が必要な在宅療養者に対してきめ細かな健康観察が実施できるよう、引き続き体制の整備充実を図る（4月8日現在：協力医療機関 125施設）

・市町村との連携を強化（市町村保健師による健康サポート、生活支援物資配送等）

在宅療養患者への緊急的な対応が必要な場合や、生活支援物資の配送時などに、市町村による地の利を生かした迅速な対応が行えるよう、引き続き連携体制を強化する

BA.2・第7波
特別対策

医療提供体制

4. 治療薬

- 塩野義製薬が開発中の経口抗ウイルス薬の薬事承認に備え、県内に早期に広く配備できるよう医師会・薬剤師会と体制づくりに着手
- 抗ウイルス点滴薬「レムデシビル」の早期投与を推進（R4.3.18に軽症者にも適応拡大）
- 入院協力医療機関以外の病院や診療所等（かかりつけ医）においても速やかに投与又は処方できる体制構築を推進

➡ **診療所の医師、高齢者施設勤務医等を対象に治療薬に関する研修会を実施**

【現在の県内での取扱い状況】

種別	治療薬名	登録機関数	使用実績	現在の配備ルール等
経口抗ウイルス薬	パキロビッドパック（ファイザー）	19医療機関 3薬局	4人（2月末時点）	・院外処方は試験運用のみ ・在庫配置：5人分まで ※オミクロン株にも有効
	ラゲブリオ（メルク）	68医療機関 105薬局	106人（3/15時点） ※薬局で8人の投与実績報告あり	・院内・院外処方可能 ・在庫配置：3人分まで ※オミクロン株にも有効
中和抗体薬	ゼビュディ（グラクソ・スミスクライン）	21病院	234人（2月末時点）	・在庫配置：3人分まで ※オミクロン株にも有効
	ロナプリーブ（中外製薬）	19病院	109人（2月末時点）	・在庫配置：6人分（3バイアル）まで ※オミクロン株への投与は非推奨

Point3

感染予防と社会経済活動の継続

主な緊急コロナ対策（経済・雇用対策）

県／市町村

- **鳥取県オミクロン株影響対策緊急応援金**
  感染急拡大に伴い売上が減少した県内中小企業等を業種、地域問わず支援
  （最大40万円、認証店加算（2店舗目以降、10万円×店舗数））
- **【鳥取市】オミクロン株影響対策緊急応援金**
  県の「オミクロン株影響対策緊急応援金」に鳥取市独自の応援金を上乗せ支給
  （最大10万円～30万円＋認証店加算（2店舗目以降、1店舗につき最大15万円）
- **【米子市】オミクロン株影響対策特別支援金**
  県の「オミクロン株影響対策緊急応援金」へ米子市独自の応援金を上乗せ支給
  （県応援金（※認証店加算を除く）の半額＋認証店・協賛店加算（市内2店舗目以降、1店舗につき5万円）
- **ポストコロナに向けた資金繰り支援事業**
  経営安定化等に要する期日一括型の資金創設 （最長5年間元本返済不要、融資限度額3，000万円）
- **新型コロナ感染予防対策推進補助金**
  感染予防対策を維持するために必要な設備等の導入経費を補助 （補助率1/2、最大20万円）
- **県内企業多角化・新展開応援事業補助金**
  新分野進出や業態転換等、コロナ克服のための取組を補助 （補助率1/2、最大100万円）
- **新時代対応型事業展開支援補助金**
  コロナ克服のための取組をさらにステップアップする取組等を補助 （補助率1/2、最大500万円）
- **鳥取県テレワーク等導入企業支援補助金**
  テレワーク、オンライン会議等の導入に向けた取り組みを補助 （補助率1/2、最大50万円）

国

- **事業再構築補助金**
  新分野展開や業態転換、事業・業種転換等の取組、事業再編又は規模の拡大等を補助
  （補助率2/3または1/2 、100万円～8，000万円）
- **事業復活支援金**
  地域・業種を限定しない事業規模に応じて給付される支援金（法人最大250万円、個人最大50万円）

本県の主な緊急コロナ対策（飲食・観光の需要喚起等を支援）

➢ 新型コロナ安心対策認証店特別応援キャンペーン（お食事クーポン券第２弾）

新型コロナ安心対策認証店の飲食店等を対象に『25%プレミアム付きお食事クーポン券』の販売を支援

⇒今後、感染状況を注視し、機動的に開始

➢ 安心対策エリア版割増クーポン食事券事業費補助金

地域ぐるみで感染防止対策に取り組む団体等を対象に、エリア内で参加の新型コロナ安心対策認証飲食店で共通使用できる『43%プレミアム付きエリア内クーポン食事券』の販売を支援

⇒今後、感染状況を注視し、機動的に開始

➢ もっとよなごを元気に！飲食店応援キャンペーン第２弾（米子市）

キャンペーンに参加している新型コロナ認証店・協賛店で利用金額に応じ500円または1000円を割引（4/11～6月末）

※グループ利用の場合「1グループ4人まで」の人数制限あり。

⇒会食マナーや基本的な感染予防対策に十分配慮の上、キャンペーンを実施

➢ #WeLove山陰キャンペーン （現在、鳥取県民のみ）

鳥取県民の方の宿泊・観光料金を割引（４月28日まで）

＜キャンペーン概要＞

宿泊施設（半額・上限5,000円）、県内日帰り旅行（半額・上限5,000円）、観光施設（半額・上限3,000円）
県内の土産店や飲食店で利用可能なクーポンの配布

⇒近隣県・地域ブロック（中国・四国）内県への対象拡大について、現在、各県と調整中

BA.2・第7波
特別対策

若年層へのワクチン接種の推進

新規陽性者の約半数が10～20代であることから、若者に向けて接種を勧奨

◆ 国による学生の接種に力を入れる大学等への支援

自治体が設置した大規模接種会場にバス等で学生を送迎する大学に対して交通費を助成

⇒ **県内大学等に県営接種会場での接種を要請済み（本日）**

鳥取大学、鳥取環境大学、鳥取短大、鳥取看護大学、米子高専

◆ 「新成人おめでとう！キャンペーン」（4/9配布開始）

４月から新たに成人となる18～20歳の方が県営会場で接種されると、お祝いとしてささやかなミニプレゼントを差し上げます

◆ 高校生・大学生の接種促進

学校へのチラシ配布・メール送付、出前講座の実施

◆ ５～11歳の小児接種の必要性ＰＲ

地元テレビ局情報番組で、小児接種の必要性をＰＲ

その他の年代に対しても、県・市町村による接種促進策を実施

◎県によるメディア広報（新聞、テレビCM、SNS等）、県営会場の開設
◎市町村による未接種者への個別勧奨等、有効な取組みの横展開

BA.2・第7波
特別対策

ワクチン接種の更なる推進

職域接種の推進

「鳥取型職域共同接種体制推進プロジェクト」で、企業・事業所単位での団体受け入れを開始します（団体接種枠の新設）

関係団体に幅広く呼びかけ
職域接種を推進する

＜対　　象＞　県内に所在する企業・事業所
＜受付単位＞　被接種者概ね5人以上
＜受付方法＞　企業等は接種希望者リストを作成して、4日前までにコールセンターに申し込む

・東部会場（鳥取市文化センター）　4月：10,14,15,16,17,21,22,23,24　5月：3,4,5,7,8,14,15,21,22
・西部会場（米子産業体育館）　4月：16,17,23,24,29,30　5月：4,5,7,8,14,21,22

○単独実施の職域団体の接種状況（13会場）　　4月8日時点

会場名	開始日	接種済数
鳥取商工会議所	4/2	795
サンマート	3/17	1,340
気高電機	3/24	733
グッドヒル	3/20	1,035（接種完了）
鳥取中部観光推進機構	3/16	1,047（接種完了）

会場名	開始日	接種済数
JR西日本米子支社	3/3	127
陸上自衛隊米子駐屯地	3/18	22
境港水産振興協会	4/6	558
航空自衛隊美保基地	2/28	88

今後の開始予定　……　ジャパンディスプレイ（4/14）

大学での接種　…　鳥取短期大学、鳥取看護大学（3月中に実施済み）公立鳥取環境大学（4/23）　鳥取大学（鳥取（5/12）・米子（検討中））

県営接種会場でのスピーディーで予約簡単な接種

最短20分で接種完了

＜4～5月の開設日＞ ※今後も開設日を追加発表予定

4/9,10：新日本海新聞社　4/16,17：倉吉シティホテル　5/14：米子しんまち天満屋

武田社ノババックス　県が接種会場を設置の方向で早ければ5月開始で検討中（アレルギー等のためmRNAワクチンを打てない方等向け）

飲食店における感染防止対策の徹底

○ 県民の皆様が安心して飲食店を利用していただけるよう、巡回点検を通じて感染防止対策の徹底を図ります。
○ 飲食店の皆様には、相互点検、自己点検を実施し、感染防止対策の徹底に努めていただきますようお願いします。

【飲食店における感染防止対策の点検】

認証店の定期巡回点検

・委託事業者により認証店の定期巡回点検（３か月毎）を実施
・不備があれば改善を指導し、報告を求めて是正状況を確認

＋

繁華街の飲食店の巡回点検

・GWまでの期間を重点期間に設定し、県内繁華街の飲食店1,080店を対象に県職員等による巡回点検を実施

感染急増時には緊急点検を実施

飲食店エリア、団体による相互点検の推進

・飲食店向け感染防止対策研修会の動画、点検チェックリストを活用した相互点検、個店の自己点検の実施を飲食店組合等に働き掛け

宿泊施設・観光施設における感染対策

GWを控え、県内の宿泊施設・観光施設等における感染防止対策の巡回点検を4月中に実施

宿泊施設（主な点検内容）

○全従業員のマスク着用・体温チェック
○対面ボードの設置・定期的な消毒
○入館時の体調確認・検温・消毒・マスクの着用
○テーブルの間隔を取り、パーテーション等を設置

観光施設・キャンプ場（主な点検内容）

○施設入口に検温機、アルコール消毒液の設置
○室内施設の常時換気、共有物等の定期的な消毒
○混雑時のイベント会場への入場制限
○職員のマスク着用、手指消毒励行、毎朝の検温

特措法第24条第9項による感染防止対策徹底の要請

感染が高止まりし、引き続き感染防止対策の徹底を行う必要があることから、4月30日まで要請期間を延長します

■区　　域　鳥取県全域

■期　　間　令和4年3月3日から4月30日まで延長

■要請内容

- 「正しいマスクの着用」「定期的な換気」「手洗い・消毒」をはじめとした基本的な感染予防対策の徹底をお願いします。
- 集会やイベントなど人が集まる場合は、「密の回避」や「人と人との距離の確保」、「マスク着用の徹底」など感染防止対策を徹底するようお願いします。
- 職場や飲食店等における業種ごとの感染拡大予防ガイドラインの遵守を徹底し、感染防止対策を万全にするようお願いします。

新型インフルエンザ等対策特別措置法第24条第9項は、新型コロナの感染拡大を抑え込むために、県民の皆様に協力をお願いする制度です。

オミクロンBA.2対策 「寅」の巻

其の壱

マスクは正しく着けますく

BA2でもマスクは有効です

其の弐

人と人、間が愛だ

距離がとれない場合、パーティションを利用し、大声は控えて

其の参

少々の症状でもご連絡を

体調悪ければ登校や出勤は止める。
かかりつけ医、受診相談センターに連絡を

其の四

飲食はマナーを守って楽しまなー

飲食店や自宅でも、大人数・大声・大皿・大騒ぎは控えてマスク会食

其の伍

ワクチン接種や検査を受けんさい

ワクチンはBA2にも有効です。
不安な方は検査を受けてください

其の六

幸せは予防で呼ぼう

換気、手洗い、消毒など基本的な感染対策を徹底

ニューノーマルな職場環境の推進

withコロナに対応したニューノーマルな職場環境づくりをお願いします。

その1 感染対策の取れた執務室

- 消毒・飛沫防止の徹底
  （手洗いや手指消毒、正しいマスク着用の徹底）
- 換気の徹底（CO2濃度測定器等も活用）
- 従業員同士の距離確保

その2 低リスクな勤務形態

- 少しでも症状がある従業員の出勤自粛（休みやすい環境づくり）
- 抗原簡易キット等を活用した検査実施
- 勤務場所の分散化
- スプリット・チーム制（交代勤務）の導入

その3 withコロナの働き方

- テレワーク（在宅勤務）の常態化
- テレビ会議・オンライン商談の普及
- 業務のデジタル化よる柔軟な就業形態の実現

その4 事業継続への備え

- 優先業務の選定
  ※確実に継続すべき業務と縮小可能な業務の選定
- 優先業務を継続するための体制確保
- 一度に多数の欠勤者が生じた場合の応援体制の備え

県外との往来について

全国的にオミクロン株による感染が高止まりしている状況です。

県外との不要不急の往来は慎重にご判断ください

※兵庫県のうち香美町及び新温泉町（因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏）、島根県
⇒通勤、通学、生活用品の買い物など、感染予防対策を取った上での必要不可欠な往来については、差し支えありません。

県外と往来する際は、以下のとおり基本的な感染対策の徹底をお願いします。

＜県外に行かれる際のお願い＞

- マスクを正しく着用、手洗い・消毒など基本的な感染対策を徹底しましょう
- 繁華街や人混みを避け、感染リスクの高い場所は避けましょう
- 飲食の際は、短時間で感染対策が徹底されている店を選びましょう
- 体調が悪い時は、無理をせず県外との往来は避けましょう
- 行き先の自治体が出している新型コロナ情報の確認をしましょう

＜県外から帰られた際のお願い＞

- 帰県後はPCR等検査を受け、陰性確認までは活動を控えましょう
- 帰県後1週間程度は、会食など感染リスクの高い行動は控える、高齢者など重症化リスクのある人との接触を控えるようにしましょう
- 発熱、倦怠感など症状があれば、すぐに受診又は受診相談センターに相談しましょう

家庭内での感染予防対策

「BA.2」への置き換わりに伴い家庭内感染が引き続き懸念されます。
家庭内での感染対策の徹底をお願いします。

1 家に帰ったらまずは手洗い・うがい

2 体調不良時は無理しない

- ✓ 家庭内で少しでも体調の悪い方がいる場合は、通勤・通学・通園を控え、かかりつけ医、又は受診相談センターに相談を！

3 家庭内でもこまめな換気

- ✓ 人が集う時は、必ず換気！
  ※30分に1回以上、5分間を目安
  ※換気扇も活用！

4 親しき仲にもマスクあり

- ✓ 会話時はマスクを着用し、十分な距離をとって
- ✓ お子さまも含めて不織布マスクを

5 食事の場面

- ✓ 大皿を避け、料理は個々に配膳を
- ✓ 食事中の会話を控える
- ✓ 食器や箸の共用を避ける

6 なるべく共用は避ける

- ✓ 特にタオル、歯磨粉、コップ等は共用しない
- ✓ 歯ブラシは個別に保管
- ✓ 共用部分はこまめに消毒

体調悪ければ無理をしないで！

体調が悪いにもかかわらず大丈夫と思い 出勤されたことで、施設内で感染が広がった事例が多くみられます。

中にはクラスターになった事例もあり。

感染力の強いオミクロン株の感染拡大を防止するため、

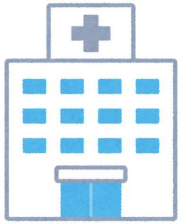
ご自分や大切な人を守るため、

少しでも症状がある場合は、無理に登校・出勤をせず、

かかりつけ医、又は受診相談センターに相談しましょう

職場も出勤前の体調確認、症状がある場合の出勤自粛など、

従業員への呼びかけ（休みやすい環境づくり）をお願いします



発熱等の症状が出たときの相談先

受診相談センター

☎ 0120-567-492　コロナ・至急に　毎日9:00~17:15

（ファクシミリ）0857-50-1033

（東部地区）☎ 0857-22-8111

（中部地区）☎ 0858-23-3135

（西部地区）☎ 0859-31-0029

上記以外の時間

休日を含め24時間対応

感染急拡大特別警報

西部地区において、市中感染と思われる事例を含め感染が拡大しているため、「感染急拡大特別警報」を発令します。

東部地区については、引き続き市中感染と思われる事例を含め感染が高止まりしている状況です。

年度初めでの人々の移動や、歓迎会などの行事が増える時期を迎えています。

一人一人厳重な感染予防対策をお願いします。

区　域	東部地区
	西部地区

中部地区については、感染の減少傾向が見られるため、本日をもって「感染急拡大特別警報」を解除します。

鳥取県版新型コロナ警報（４月８日現在）

県内全域に「特別警報」を発令しています。

県民の皆様には、高い緊張感をもって感染予防対策の徹底をお願いします。

地域	発令区分	備考
東部地区	特別警報	1/24～
中部地区	特別警報	3/24～
西部地区	特別警報	1/18～

「レベル分類」の本県独自の判断指標状況

※レベル2：新規陽性者数が増加傾向。一般医療と新型コロナ医療の負荷が生じはじめているが、病床数増加でコロナ医療が必要な人へ適切な医療ができている

3：一般医療を相当程度制限しないと、コロナ医療が必要な人への適切な医療ができない

- **軽症例の多いオミクロン株の特性を踏まえ、最大確保病床使用率・重症病床使用率に重点を置いて運用**
- **コロナ医療が必要な人へ提供でき、一般医療の制限には明らかに至っていない状況であることから、本県の状況は、総合的な判断により「レベルⅡ」**
- **対策は前倒して実施しつつ、オミクロン株の特性を踏まえた判断目安を検討していく**

判断指標	数値（4月7日現在）	本県独自目安 ➡※に基づき総合的に判断		
		Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
新規陽性者数（対人口10万人/週）	100.2人 （554人/55.3万人×10万人）	10人/週	30人/週	50人/週
最大確保病床使用率	12.6% （44/350床）	１５%	５０%	８０%
重症病床使用率 （重症者以外が使用している場合も計上）	0.0% （0/47床、うち重症者0人）	－	５０%	
全療養施設使用状況 （療養者数/（最大確保病床数＋宿泊療養居室）） ※療養者数には在宅療養者の人数も含む	0.743 （666/（350床＋546室））	－	－	1

参考指標	数値（4月6日現在）
療養者数（対人口10万人/週）	120.4人 （666人/55.3万人×10万人）
PCR陽性率（直近1週間）	8.1% （554/6,820件）
感染経路不明割合（直近1週間）	集計中

新型コロナウイルス感染症陽性者の概要
（前回対策本部会議（4/7）以降公表事例）

＜鳥取市保健所管内：管内4075～4099例目（県内9847～9871例目）＞

陽性確認日	陽性公表日	事　例	管轄保健所	発症日・症状	検査実施
4月6日	4月7日	管内4075例目（県内9847例目）	鳥取市	無症状	県内陽性者の濃厚接触者としてPCR検査
4月6日	4月7日	管内4076例目（県内9848例目）	鳥取市	4/6　喉の違和感	県内陽性者の濃厚接触者としてPCR検査
4月6日	4月7日	管内4077例目（県内9849例目）	鳥取市	4/2　咽頭痛、鼻水、鼻閉	医療機関を受診し抗原定性検査、PCR検査
4月6日	4月7日	管内4078例目（県内9850例目）	鳥取市	4/1　咽頭痛	医療機関を受診し抗原定性検査、PCR検査
4月6日	4月7日	管内4079例目（県内9851例目）	鳥取市	4/4　発熱、喉の違和感、ふらつき、吐き気	医療機関を受診し抗原定性検査、PCR検査
4月6日	4月7日	管内4080例目（県内9852例目）	鳥取市	4/5　発熱、腹痛、頭痛、腰痛	医療機関を受診し抗原定性検査、PCR検査
4月6日	4月7日	管内4081例目（県内9853例目）	鳥取市	4/5　発熱、咽頭痛、頭痛	県内陽性者の濃厚接触者としてPCR検査（1回陰性後再検査）
4月6日	4月7日	管内4082例目（県内9854例目）	鳥取市	4/5　発熱	県内陽性者の濃厚接触者としてPCR検査（1回陰性後再検査）
4月6日	4月7日	管内4083例目（県内9855例目）	鳥取市	4/5　発熱、頭痛、関節痛	医療機関を受診し抗原定性検査、PCR検査
4月6日	4月7日	管内4084例目（県内9856例目）	鳥取市	4/5　喉の違和感	県の無料PCR検査
4月6日	4月7日	管内4085例目（県内9857例目）	鳥取市	4/5　頭痛、悪寒、咽頭痛	医療機関を受診し抗原定量検査
4月6日	4月7日	管内4086例目（県内9858例目）	鳥取市	4/6　倦怠感、喉イガイガ	県の無料PCR検査
4月6日	4月7日	管内4087例目（県内9859例目）	鳥取市	4/5　発熱	県外陽性者の濃厚接触者としてPCR検査
4月6日	4月7日	管内4088例目（県内9860例目）	鳥取市	無症状	県内陽性者の濃厚接触者としてPCR検査（1回陰性後再検査）
4月6日	4月7日	管内4089例目（県内9861例目）	鳥取市	4/3　咳	県内陽性者の濃厚接触者としてPCR検査（1回陰性後再検査）
4月6日	4月7日	管内4090例目（県内9862例目）	鳥取市	4/3　風邪症状	県内陽性者の濃厚接触者としてPCR検査（1回陰性後再検査）
4月6日	4月7日	管内4091例目（県内9863例目）	鳥取市	4/6　咽頭痛、鼻閉、鼻水	県内陽性者の濃厚接触者としてPCR検査（1回陰性後再検査）
4月6日	4月7日	管内4092例目（県内9864例目）	鳥取市	4/5　頭痛、喉の痛み	県内陽性者の濃厚接触者としてPCR検査（1回陰性後再検査）

新型コロナウイルス感染症陽性者の概要
（前回対策本部会議（4/7）以降公表事例）

陽性 確認日	陽性 公表日	事　例	管轄 保健所	発症日・症状	検査実施
4月6日	4月7日	管内4093例目 （県内9865例目）	鳥取市	4/3　咽頭痛	医療機関を受診し抗原定性検査、PCR検査
4月6日	4月7日	管内4094例目 （県内9866例目）	鳥取市	4/5　咽頭痛	県内陽性者の濃厚接触者としてPCR検査
4月6日	4月7日	管内4095例目 （県内9867例目）	鳥取市	無症状	県内陽性者の濃厚接触者としてPCR検査
4月6日	4月7日	管内4096例目 （県内9868例目）	鳥取市	4/5　発熱、頭痛	県内陽性者の濃厚接触者としてPCR検査
4月6日	4月7日	管内4097例目 （県内9869例目）	鳥取市	4/5　咳	医療機関を受診し抗原定量検査
4月6日	4月7日	管内4098例目 （県内9870例目）	鳥取市	—	—（県外対応・管轄保健所に引継ぎ）
4月6日	4月7日	管内4099例目 （県内9871例目）	鳥取市	—	—（県外対応・管轄保健所に引継ぎ）

※4月7日陽性確認分24件（鳥取市保健所管内4100～4123（県内9917～9940例目））の詳細については調査中

新型コロナウイルス感染症陽性者の概要
（前回対策本部会議（4/7）以降公表事例）

＜県設置保健所管内：県内9872～9916例目＞

陽性確認日	陽性公表日	事　例	管轄保健所	発症日・症状		検査実施
4月6日	4月7日	県内9872例目	倉吉	4/5	関節痛、寒気	疫学調査として検査
4月6日	4月7日	県内9873例目	倉吉	4/4	咳	疫学調査として検査
4月6日	4月7日	県内9874例目	倉吉	4/6	頭痛	疫学調査として検査
4月6日	4月7日	県内9875例目	倉吉	4/6	喉の違和感	医療機関を受診し検査
4月6日	4月7日	県内9876例目	倉吉	4/1	咽頭痛	医療機関を受診し検査
4月6日	4月7日	県内9877例目	倉吉	4/3	発熱、頭痛、咽頭痛、身体痛	医療機関を受診し検査
4月6日	4月7日	県内9878例目	倉吉	4/5	頭痛	無料検査を受検
4月6日	4月7日	県内9879例目	米子		無症状	無料検査を受検
4月6日	4月7日	県内9880例目	米子	4/5	咽頭痛、咳	無料検査を受検
4月6日	4月7日	県内9881例目	米子	4/5	咽頭痛、発熱	無料検査を受検
4月6日	4月7日	県内9882例目	米子	4/5	発熱、頭痛、鼻汁、咽頭痛、食欲不振	無料検査を受検
4月6日	4月7日	県内9883例目	米子	4/5	発熱、頭痛、咳	無料検査を受検
4月6日	4月7日	県内9884例目	米子	4/2	発熱、頭痛、咽頭痛	医療機関を受診し検査
4月6日	4月7日	県内9885例目	米子	4/4	発熱、頭痛、腰痛、筋肉痛、倦怠感	医療機関を受診し検査
4月6日	4月7日	県内9886例目	米子	4/3	咳	無料検査を受検
4月6日	4月7日	県内9887例目	米子	4/5	咽頭痛	無料検査を受検
4月6日	4月7日	県内9888例目	米子	4/5	咽頭痛	医療機関を受診し検査
4月6日	4月7日	県内9889例目	米子	4/4	喉の違和感	医療機関を受診し検査
4月6日	4月7日	県内9890例目	米子	4/5	咽頭痛、鼻汁	医療機関を受診し検査

新型コロナウイルス感染症陽性者の概要
（前回対策本部会議（4/7）以降公表事例）

陽性確認日	陽性公表日	事　例	管轄保健所	発症日・症状		検査実施
4月6日	4月7日	県内9891例目	米子	4/5	下痢	医療機関を受診し検査
4月6日	4月7日	県内9892例目	米子	4/5	咽頭痛、発熱	医療機関を受診し検査
4月6日	4月7日	県内9893例目	米子	4/5	咳	医療機関を受診し検査
4月6日	4月7日	県内9894例目	米子	4/5	咽頭痛	医療機関を受診し検査
4月6日	4月7日	県内9895例目	米子	4/5	発熱	医療機関を受診し検査
4月6日	4月7日	県内9896例目	米子	4/4	咽頭痛、発熱	医療機関を受診し検査
4月6日	4月7日	県内9897例目	米子		無症状	医療機関を受診し検査
4月6日	4月7日	県内9898例目	米子	4/3	咽頭痛、倦怠感	疫学調査として検査
4月6日	4月7日	県内9899例目	米子		無症状	医療機関を受診し検査
4月6日	4月7日	県内9900例目	米子		無症状	無料検査を受検
4月6日	4月7日	県内9901例目	米子	4/6	発熱	医療機関を受診し検査
4月6日	4月7日	県内9902例目	米子	4/6	鼻汁、咽頭痛	医療機関を受診し検査
4月6日	4月7日	県内9903例目	米子	4/4	発熱、咽頭痛	医療機関を受診し検査
4月6日	4月7日	県内9904例目	米子	4/6	発熱、咽頭痛	医療機関を受診し検査
4月6日	4月7日	県内9905例目	米子	4/6	頭痛、倦怠感、発熱	無料検査を受検
4月6日	4月7日	県内9906例目	米子	4/1	咽頭痛、咳、頭痛	疫学調査として検査
4月6日	4月7日	県内9907例目	米子	4/5	咳、頭痛、発熱	医療機関を受診し検査
4月6日	4月7日	県内9908例目	米子	4/4	咳、倦怠感	疫学調査として検査
4月6日	4月7日	県内9909例目	米子	4/4	発熱	疫学調査として検査

新型コロナウイルス感染症陽性者の概要
（前回対策本部会議（4/7）以降公表事例）

陽性確認日	陽性公表日	事　例	管轄保健所	発症日・症状		検査実施
4月6日	4月7日	県内9910例目	米子	4/1	咽頭痛	疫学調査として検査
4月6日	4月7日	県内9911例目	米子	4/5	発熱、嘔吐、息苦しさ	濃厚接触者として健康観察中に検査
4月6日	4月7日	県内9912例目	米子	4/6	発熱、咳	濃厚接触者として健康観察中に検査
4月6日	4月7日	県内9913例目	米子	4/5	熱、頭痛	濃厚接触者として健康観察中に検査
4月6日	4月7日	県内9914例目	米子	4/5	発熱	濃厚接触者として健康観察中に検査
4月6日	4月7日	県内9915例目	米子	4/6	熱、頭痛、咽頭痛	濃厚接触者として健康観察中に検査
4月6日	4月7日	県内9916例目	米子	4/5	発熱、咽頭痛、咳、倦怠感	医療機関を受診し検査

＜既陽性者との接触＞

・ 接触あり　３０名　　・ 接触なし　１５名

（接触ありの内訳）

・ 県内 9280 例目　１名　・ 県内 9383 例目　１名　・ 県内 9527 例目　１名　・ 県内 9555 例目　１名
・ 県内 9716 例目　１名　・ 県内 9720 例目　４名　・ 県内 9740 例目　２名　・ 県内 9748 例目　２名
・ 県内 9759 例目　１名　・ 県内 9779 例目　１名　・ 県内 9781 例目　１名　・ 県内 9784 例目　２名
・ 県内 9786 例目　２名　・ 県内 9883 例目　１名　・ 県内 9884 例目　１名　・ 県内 9890 例目　１名
・ 県内 9903 例目　１名　・ 県外陽性者　６名

※4月7日陽性確認分51件（県内9941～9991例目）の詳細については調査中